

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末3月31日 中間9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 (〒541-8502) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777(通話料無料)
公告方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.dnt.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場 (証券コード4611)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

定時株主総会決議ご通知は 当社ウェブサイトへ

昨今のインターネットやスマートフォンの普及および地球環境への配慮の観点から、決議ご通知の書面によるご送付を取り止めることといたしました。
決議結果につきましては、当社ウェブサイトでご確認ください。

当社ウェブサイト 株主総会ページ
<https://www.dnt.co.jp/ir/stock/meeting/>



ひえティ®

IRメール配信サービス(登録無料)

Eメールアドレスをご登録いただいた方へ、当社の決算発表や経営戦略、開示情報などIR情報をタイムリーに配信しています。是非ご登録ください。

<https://www.dnt.co.jp/ir/support/mail/>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

DNT
DAI NIPPON TORYO

第142期報告書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

大日本塗料株式会社



経営理念

当社は、新しい価値の創造を通じて
地球環境や資源を護り、
広く社会の繁栄と
豊かな暮らしの実現に貢献できる
企業を目指します。

代表取締役社長

里 隆 幸

2024年度の振り返り

当期の経営成績につきましては、国内塗料事業において一連の不適切行為問題による売上減少の影響があったものの、かねてより進めてきた価格是正が進展したこと、インク・分散技術関連で新製品の拡販やディスプレイ用途への採用が進展したことを受け、前年を上回りました。また、照明機器事業が堅調に推移したこともあり、連結売上高は725億1千1百万円(前期比0.8%増)となりました。一方、利益面においては、国内塗料事業における費用増加、海外塗料事業における売上減少に伴う利益率低下により、営業利益47億1千6百万円(同3.8%減)、経常利益51億9千9百万円(同2.6%減)となりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益は、神東塗料株式会社(以下、神東塗料)を子会社化したことによる負ののれんの発生益および政策保有株式の縮減に伴う投資有価証券売却益の計上により、94億3千7百万円(同105.1%増)となりました。*

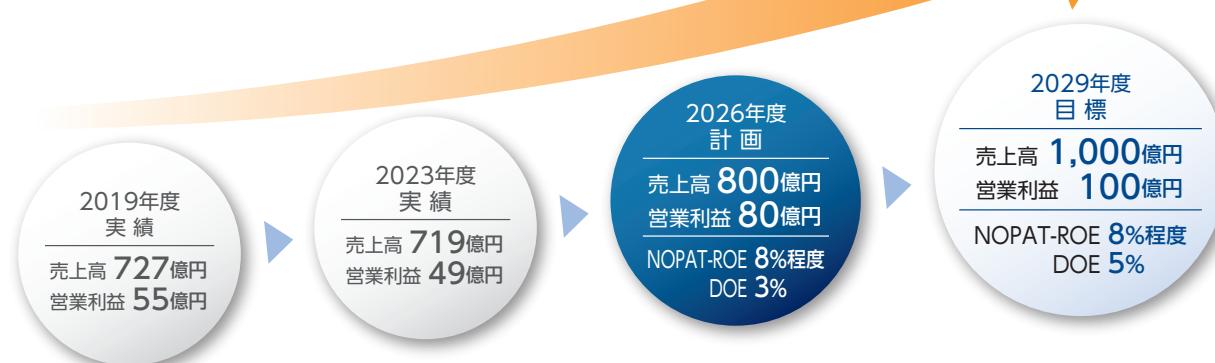
*当連結会計年度においては、連結貸借対照表には神東塗料株式会社の資産および負債を含んでおりますが、連結損益計算書には、同社の損益を含んでおりません。

代表取締役社長の里 隆幸でございます。株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、2023年10月26日に公表した当社連結子会社である岡山化工株式会社における不適切行為および2024年11月29日付で公表したJISマーク表示の一時停止について、外部弁護士を中心とする特別調査委員会の調査結果を踏まえ、本年5月12日付で調査報告書を公表いたしました。一連の不適切行為の原因としまして、納期のプレッシャーや品質に対する意識の希薄さ、安易な前例踏襲主義といった社内風土が指摘されており、そのような状況を許容してきた経営陣のガバナンス意識の甘さについて、強く反省するところです。特別調査委員会からは再発防止に向けた提言を頂いており、提言に基づいた取り組みを真摯に、かつ速やかにやり遂げ、皆様からの信頼を取り戻すことが私の最大の責務であると考えております。

株主様、お取引先様をはじめ関係者の皆様にご多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

ビジョン2029



「2026中期経営計画」の基本方針及び施策

成長市場と先駆的領域への注力	<ul style="list-style-type: none"> ●各事業の有機成長の推進と、新たな成長ドライバーの育成に向けた、リソース配分の最適化と戦略投資の実行 ●顧客ニーズに沿ったサステナビリティ貢献製品・海外製品等、開発力の強化
外部リソースの獲得・活用による事業基盤の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ●M&Aや業務提携等のアライアンス活用による塗料事業の基盤拡大及び抜本的効率化 ●自主的な事業推進に向けた外部リソース獲得による海外事業基盤の拡大
人材及び事業活動の全社最適化	<ul style="list-style-type: none"> ●採用・育成強化及び人材配置の最適化、職場環境の整備 ●製品開発力と総合提案力を最大化する組織・グループ間協働の強化 ●適時適切な設備更新及びDXの活用による、生産性の更なる向上

創立100周年にむけて、2026中期経営計画を着実に遂行

当社グループは、創立100周年を迎える2029年度のありたい姿として、業績面で連結売上高1,000億円、連結営業利益100億円、NOPAT(税引後営業利益)-ROE8%程度の企業規模へ成長することをビジョン2029として掲げております。2024年度からスタートした2026中期経営計画では、ビジョン2029の実現に向けた事業戦略と基盤の深化に注力することとし、「成長市場と先駆的領域への注力」「外部リソースの獲得・活用による事業基盤の拡大」「人材及び事業活動の全社最適化」の3つの基本方針に取り組んでおります。この基本方針に基づく取組の一環として、総合塗料メーカーである神東塗料の株式を取得し、本年3月18日付で連結子会社化しました。今後、同社とのシナジー

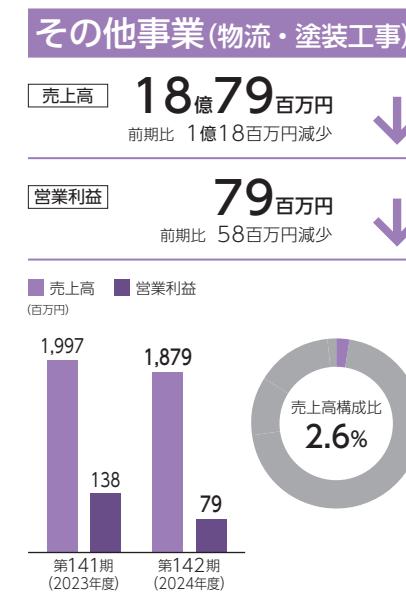
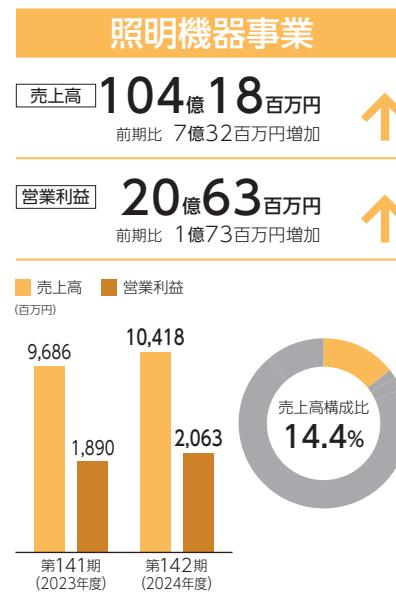
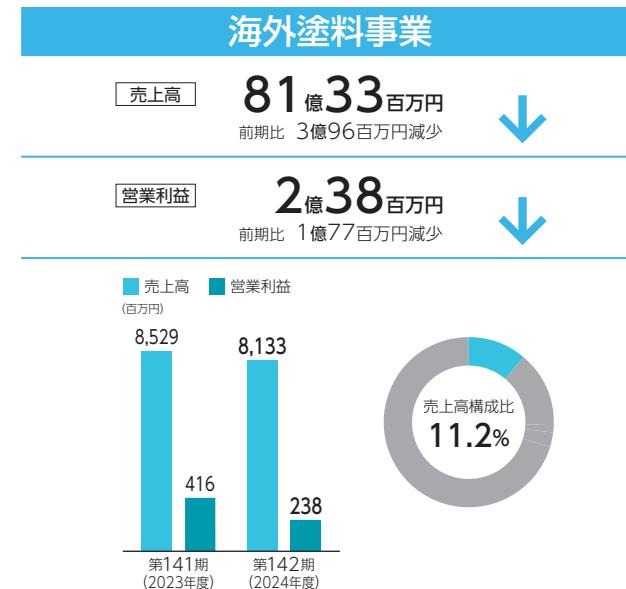
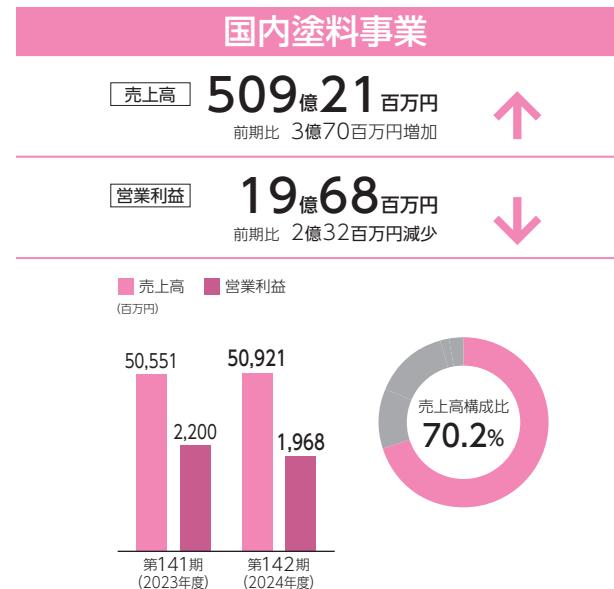
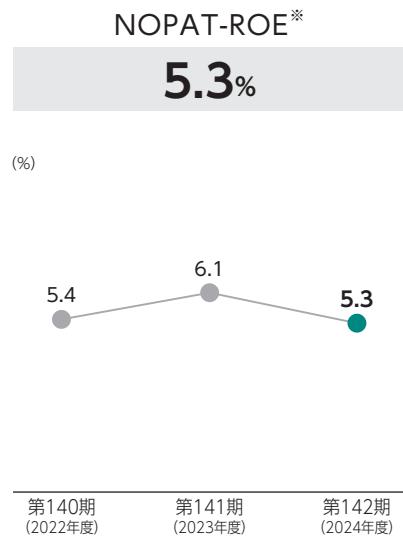
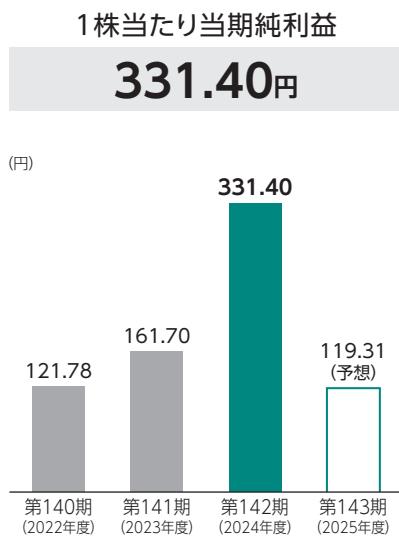
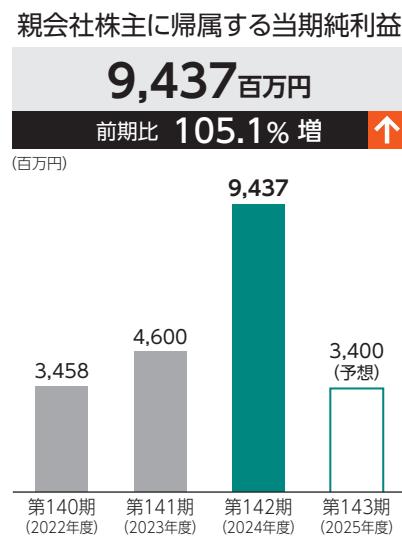
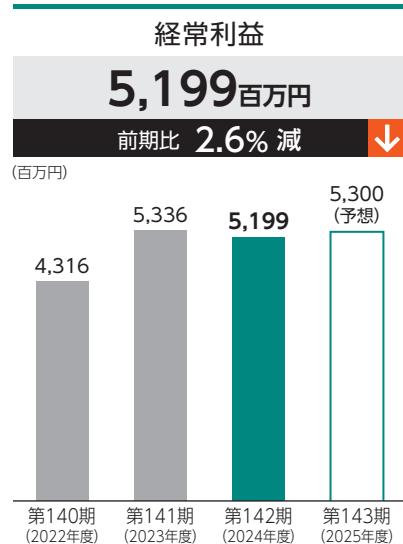
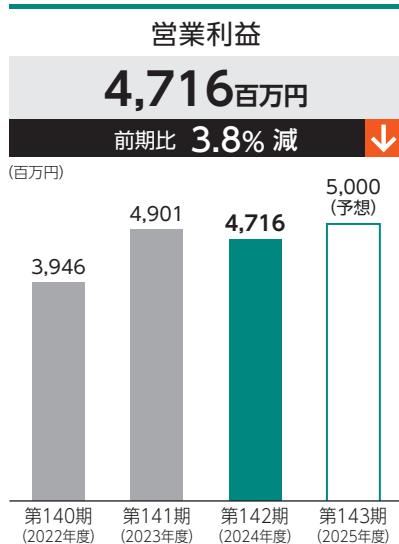
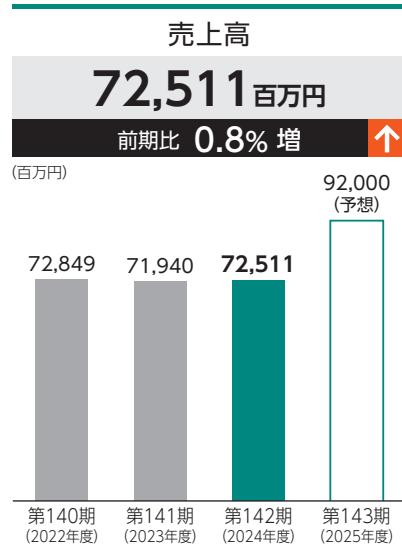
を着実に生み出し、ビジョン2029の実現に向けた歩みを加速してまいります。

この度の品質事案を新たなDNTグループに生まれ変わる契機とし、さらなるガバナンス強化に努めるとともに、創立100周年に向けて持続的に成長する姿をお見せできるよう、グループを挙げて取り組んでまいります。

株主の皆様には、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月

詳細は当社ウェブサイトに掲載されている投資家情報をご覧ください。
<https://www.dnt.co.jp/ir/financial/highlight/>
 トップページ>投資家情報>業績・財務情報>業績ハイライト



こんなところにDNT

当社は総合塗料メーカーとして、防食技術を礎に様々な分野で人の暮らしを支えています。
また、塗料で培った技術を応用し、照明機器事業や蛍光色材事業、インクジェット用インクの事業も手掛けています。

構造物・重防食用塗料

当社が業界トップシェアを誇っている分野です。橋梁やプラントをはじめとする大規模構造物を腐食・さびから護り、長寿命化に貢献しています。

蛍光色材

蛍光塗料や反射塗料を製造販売しており、視認性の高さから近年では河川の水位表示など、防災対策用としても需要が拡大しています。

建築物用塗料

主に住宅やビルなどの建物の外装、内装に使用されています。遮熱塗料や有害物質を一切含まない塗料など、環境負荷低減に貢献できる製品も開発しています。

照明機器

商業施設や医療機関で使用される高級志向の照明機器において高いシェアを有しています。最近では住宅照明や紫外線除菌装置なども展開しています。

LED照明

工業用塗料

鉄道や自動車、その他工業製品に使用されています。当社はインクジェット用インクも手掛けており、塗料とインクを組み合わせた複合塗装も当社の強みです。

株式の状況／会社概要

(2025年3月31日現在)

発行可能株式総数	93,280,000株
発行済株式の総数	29,710,678株
株主数	23,788名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,916	10.2
明治安田生命保険相互会社	1,400	4.9
DNT取引関係持株会	1,375	4.8
株式会社三菱UFJ銀行	1,228	4.3
ダイニッカ株式会社	1,215	4.2
富国生命保険相互会社	1,000	3.5
株式会社島津製作所	1,000	3.5
東京海上日動火災保険株式会社	844	2.9
田邊康秀	821	2.8
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	691	2.4

(注1) 自己株式(1,213,777株)を除いて記載しております。
 (注2) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

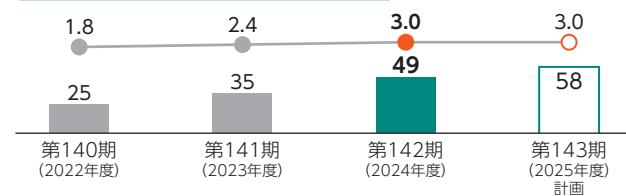
会社概要

商号	大日本塗料株式会社 Dai Nippon Toryo Company, Limited
本社	〒542-0081 大阪市中央区南船場1-18-11
設立	1929年(昭和4年)7月25日
資本金	8,827百万円
主要な事業内容	塗料・ジェットインクの製造、販売 各種塗装機器装置の販売、塗装工事等

株主様への還元方針

当社は、株主の皆様に対する配当額の決定を経営上の重要課題の一つとして位置付けており、企業体質の強化、財務内容の健全性維持に努めつつ、業績に応じた配当を安定的に継続実施することを基本方針としております。

配当金/DOE(株主資本配当率)の推移



株主優待制度

保有株式数	優待内容	
	継続保有1年以上3年未満	継続保有3年以上
100株以上 1,000株未満	QUOカード 1,000円分	QUOカード 2,000円分
1,000株以上	QUOカード 3,000円分	QUOカード 5,000円分

《対象となる株主》
 毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式100株(1単位)以上を1年以上継続保有する株主様

詳細は当社ウェブサイトにも掲載しております。

<https://www.dnt.co.jp/ir/stock/dividend/>

トップページ>投資家情報>株式情報>株主還元(配当・優待)



役員

(2025年6月24日現在)

代表取締役社長	里 隆 幸	取締役(社外取締役)	林 紀美代
取締役常務執行役員	永 野 達 彦	取締役(社外取締役)	佐 藤 弘 志
取締役執行役員	山 本 基 弘	取締役(社外取締役)	馬 場 浩 司
取締役執行役員	中 谷 昌 幸	常勤監査役(社外監査役)	杉 浦 秀 樹
取締役執行役員	三 宅 章 弘	常勤監査役	木 村 直 之
取締役執行役員	藤 原 明	監査役(社外監査役)	藤 井 浩 之

大日本塗料 2029年度 創立100周年に向けて

100年のあゆみ 第3回

1943年(昭和18年)

軍需生産一筋の時代

1943年に軍需会社法が公布され、あわせて軍需省が発足しました。これを受けて、航空機用塗料の製造体制を強化するため、大阪・横浜の両工場において設備増強を実施し、1944年12月25日付で軍需会社の指定を受けました。

1944年(昭和19年)

茅ヶ崎工場を新設、夜光塗料の生産を開始

海軍から潜水艦の内部塗装用に夜光塗料の増産要請を受け、神奈川県茅ヶ崎市にあった温室を買収・改装して、夜光(蛍光)塗料の生産を開始しました。

終戦までわずか1年という短期間であったため、当該施設の真価が十分に発揮されることはありませんでしたが、戦火を免れた唯一の生産工場として、戦後、当社が再起するための足掛かりとなり、後の蛍光色材事業の起源となりました。

1945年(昭和20年)

戦禍で生産機能の大半を喪失

国内の主要工場であった大阪・横浜の両工場は戦災により機能を喪失し、操業不能となりました。海外工場も連合国側に接収され、ゼロからの出発を余儀なくされました。

